

SDGs 活動報告書

韓国のジェンダー平等と LGBTQ に対する意識問題

人間科学部 現代社会学科 3年 小野瀬理咲
韓国・大邱カトリック大学

1. SDGs のテーマ

私が取り組んだ SDGs の課題のテーマは「韓国のジェンダー平等と LGBTQ に対する意識問題」についてです。私のテーマは「目標 5：ジェンダー平等を実現しよう」と「目標 10：人や国の不平等をなくそう」の 2つの目標に関連していると考えられます。

2. このテーマを選択した理由

なぜこのテーマを選んだのかというと、近年世界でジェンダーレスが大きく唱えられてきました。その中でも隣国であり、少子高齢化という共通した課題を抱える日韓において、LGBTQ に対する意識はどのように違い、また反対に共通点はあるのか興味を持ち、調査してみようと思いました。

3. 留学先での活動計画と実際に取り組んだ内容、調査・観察したこと

到着~1 か月	韓国における国でのジェンダー平等と LGBTQ に関する政策を調べる。
~2 か月	ジェンダー平等と LGBTQ についてアンケート調査を行う。
~3 か月	日本と韓国を比較し、解決方法を考える。アイスランドの取り組みについても調べる。
~4 か月	これまでの調査結果を見直し、まとめる。

〈1 か月目〉

1 か月目は韓国における国でのジェンダー平等と LGBTQ に関する政策を調べました。ここでは韓国ではジェンダー平等への政策は重点的に行われていることが分かりました。しかし、LGBTQ に対する政策は特に行われておらず、このような点は日本と状況が似ていると考えました。

〈2 か月目〉

2 か月目の調査では、ジェンダー平等と LGBTQ について友人を中心にアンケート調査を行いました。LGBTQ の認知度は、この調査では約 6 割で日本よりも少し低い結果となりました。また「ジェンダー平等についてどう考えるか」という質問では、「人々が差別することなく理解し合える世界が来るといいなと思う」というようなポジティブな意見と

が多かった半面、「韓国ではまだ実現不可能だ」などというネガティブな意見も決して少なくありませんでした。以上から、日本よりも韓国での LGBTQ があまり浸透しておらず、またジェンダー平等実現にはかなり課題が多いと考えられます。

〈3 か月目〉

3 か月目では、1 か月目、2 か月目の調査をもとに日本と韓国を比較し、解決方法を考え、またジェンダーギャップ指数が15年連続世界1位のアイスランドの取り組みについて調べました。まず、日本と韓国を比較して日本と韓国どちらも中高で学ぶ機会はあるように考えられましたが、ジェンダー平等や LGBTQ に対する考え方自体をポジティブに変えることが必要だと考え、出した解決方法が、ジェンダー平等と LGBTQ の教育のマニュアル化です。このことにより、より学生のうちからジェンダー平等と LGBTQ に触れ、学ぶことができることがジェンダー平等と LGBTQ に対する意識を変える第一歩になるのではないかと思いました。

またアイスランドでは、仕事場に赤ちゃんを連れていくことができるなど、福利厚生がかなり手厚いことが分かりました（大庭 2024）。アイスランドはジェンダー平等に対して日本よりもずっと先の、最先端の取り組みが行われていました。

4. おわりに

今回の調査を通して、韓国のジェンダー平等と LGBTQ に対する意識について深く知ることができました。特に、2 か月目に行った韓国人大学生対象に行ったアンケート調査は、今回の調査の全体の中で一番大きな収穫になったと思っています。個人的に反省したい点は、このアンケート調査が1日という短期間限りの調査になってしまい、得ることができた回答の数に限りが出てしまったことです。もっとアンケート調査実施期間のことを考えて、計画的に調査を準備すればよかったなと思いました。次回、自分でアンケート調査を実施するのは卒論研究の時になると思うので、その時はアンケート調査の実施期間を先読みし、もっと計画的に調査を実施していきたいと思います。

また今後すべての人々がより生きやすい世界にするために、ジェンダー平等と LGBTQ に対する理解と意識を広め、世界すべての人が平等であるという心を持つことが最も重要であると考えました。